



# 仙台三高

## 仙台三高PTA会報



### ●●目次●●

- ごあいさつ……………P 2
- みやぎ高校フェスティバル開催…P 3
- 2学年 行ってきました!! 修学旅行…P 3
- ありがとう三高! ……………P 4~5
- 後期体育大会の様子……………P 6
- 三高祭開催!! ……………P 7
- 三学年より……………P 8 他

編集発行  
宮城県仙台第三高等学校PTA事務局  
〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷1丁目19番  
TEL 022 (251) 1246 FAX 022 (251) 1247  
印刷 創文印刷出版株式会社  
題字 菊田奈穂 (48回生)

## 卒業に寄せて



PTA会長 佐藤 慎也

早春の候、ご卒業の日を迎えるにあたり、第五十六回生の皆さんに心よりお慶び申し上げます。昨年来の新型コロナウイルス禍で多くの困難を抱える中、保護者の皆様におかれましては、お心遣いを重ねながら

臨まれた一年、感慨もひとしおなのではと感じております。また長期に渡る休校なども含め、子どもたちの心に寄り添い、勉強だけでなく、部活動や生徒会活動、学校行事を導いていただいた校長先生をはじめ、教職員の皆様には、例年にはない様々な対応と工夫を凝らしていた

とき、心から御礼を申し上げます。十年前の東日本大震災を受け、皆さんは幼いながらも困難な時期を乗り越え、高校生として育ち、充実感に溢れた高校生活を過ごしていたかと思えます。皆さんが過ごした仙台三高には「Team 三高」として培われた半世紀を越える「文武両道」の歩みがあります。互いを尊重しながらお互いを高め、そのような校風がここにはありました。そして皆さんの自主性を尊重し、自分たちで考えた分たちで行事や授業までもつくって来た

足跡を感じます。スーパーサイエンスハイスクールとしての取り組みでは、自分たちで取り組んだ研究課題に基づきながら、数多くの専門家や科学を学ぶ子どもたち、海外との交流も含めて経験を重ねてきました。

昨春からの新型コロナウイルス禍の日々は、世界中の人たちが直面した不安や危機とともに皆さんにも再び試練をもたらしました。部活動などで頑張ってきた成果を発揮できる機会を失い、実現できなかったことや悔し涙も多かった分、皆さんが過ごした心の経験値は、大きな視野から未来の姿を変えていくかけがえのない財産となるように思います。皆さんの今まで培ってきた柔軟な対応力で道が拓けることを信じています。

最後になりますが、これまでのPTA活動へのご理解とご尽力をいただいた保護者の皆様に心より感謝を申し上げます。そして、これから旅立つ卒業生の皆さんが心身ともに健康で過ごされ、新たな未来が開けることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

## 第五十六回生の卒業を祝して



校長 佐々木 克敬

第五十六回生の皆さん、御卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様に改めてお祝いを申し上げるとともに、これまで本校の教育活動に対して深い御理解と御協力を頂戴しましたことに衷心より感謝申し上げます。

今年度は厳しい環境の中、世の中の喧噪に振り回されることなく、学業や部活動に励んでくれた皆さんに対し、まずは敬意を表したいと思います。このような状態の中でもぶれることなく、様々な成果をコツコツと積み重ねていくことはとても重要なことです。勿論、周りを見ずに自己中心的になれとか、我が道を行くこととは違います。自分なりの信念や思いを強く持つことによって、周りの状況に対して柔軟に力強く対応できる心があるということですね。

進学後はこれまでとは違い、自分と向き合う時間がどんどん増えてきます。高校までは教科書に載っていることを覚え、使うことでほとんどのことが済みました。困ったときには周りの友人の真似をすれば事足りたことも多くあったはずですが、真の学問や研究とは誰も

行っただけで二番煎じだけで済むことではなく、開発や企画の仕事も増えることでしょう。このような時には自分に対して、物事に対して、現象に対して、どれだけ一人で誠実に向き合うことができるかです。ここには教科書も前例もありません。ただ素直な気持ちで起こっている事柄を観察し、これまでの知識を組み合わせて解決するしかありません。よい意味でどれくらい孤独に耐えられるのかだと考えます。

三高では「Team 三高」というキャッチフレーズのもとで様々なことに取り組んできました。その仲間がどのような思いで頑張っているのか、どのように孤独に向き合っているのか、想像し個々に頑張ることが卒業生の「Team 三高」のあり方だと思えます。五十六回生が良きライバルであり、よきチームメイトであったことを糧に、さらなる飛躍につながることを祈念しています。

# みやぎ高校フェスティバル開催



「みやぎ高校PTAフェスティバル2020」は10月6日仙台市太白区文化センターにて、新型コロナウイルス感染防止対策を行い、例年より規模を縮小して開催されました。

講演では榊WATLIS代表取締役引地恵氏が、中古着物地によるリメイク雑貨製造販売への取り組みについて講演されました。

パネルディスカッションではコロナ禍で行っている各校PTAの取り組み、生徒の生活家庭の変化など活発な意見交換が行われました。各校それぞれに工夫して出来ることに取り組んでいました。

PTAフェスティバル開催にご尽力されました関係者の皆様、お忙しいところご来場頂きました高P連会員の皆様に心より御礼申し上げます。



アトラクションで▶  
ハーモニカ演奏の  
ステージを楽しみました



◀コロナ禍の中、受付にも  
気を配りました

# 2 学年 行ってきました!! 修学旅行

12月10日(木)～12月11日(金)



◀わかさぎもたくさん釣れました

- 1組▶喜多方ラーメン館・山形大学工学部
- 2組▶アクアマリンふくしま
- 3組▶大内宿・スペースパーク郡山
- 4組▶アクアマリンふくしま・三崎公園潮見台
- 5組▶大内宿・東北サファリパーク
- 6組▶大内宿・東北サファリパーク
- 7組▶アクアマリンふくしま
- 8組▶わかさぎ釣り・東北サファリパーク



# 1 学年 楽しかった!! 校外学習 10月28日(水)



- 1組▶中尊寺・小岩井農場
- 2組▶あぶくま洞・郡山スペースセンター
- 3組▶宮沢賢治童話村・小岩井農場
- 4組▶蔵王(お釜)・蔵王ハートランド
- 5組▶盛岡手づくり村・小岩井農場
- 6組▶松島観光船・海の杜水族館
- 7組▶狛鼻溪・小岩井農場
- 8組▶狛鼻溪・岩手サファリパーク



# う三高!



3年1組



私たちの学年には、多くの困難が待ち受けていました。今年から共通テスト制度の変わったことに加え、コロナの影響でさまざまな制約がついた中での受験。このような非常に厳しい状況ではありませんでしたが、全員が無事に試験を終えることができました。先生方や家族、そしてクラスの仲間たちの支えがなければ、決して可能なことではありませんでした。これからも周りへの感謝を忘れず、それぞれの将来の進路へ邁進していきたいと思えます。 今野 倫瑠



3年2組



3年2組はとにかく一人ひとりの個性が強いクラスでした。その中で互いを尊重し、高め合うことで、今まで前に進み続けることができたのだと思います。たまに度が過ぎることもありましたが、それでも私たちを支えてくれた先生や保護者の方々には感謝してもしきれません。少し寂しくなりますが、またいつか会いましょう。ありがとう 三高。 叶 一希



3年3組



コロナの休校を経て、6月から始まった3年3組。なぜか学校行事に強く、景品をたくさん貰いました。リモートの世の中でも機械に強い安住先生が担任で良かったです。入試も変わり、いろいろと難しかったけれど、三高の先生方の全力サポートのもと無事卒業です。56回生の皆さん、3年間の登山登校ご苦労様でした。あと欲を言えば、千葉雄大先輩に会いたかったです。 佐藤 来夢



3年4組



3年4組は個性があふれつつ、協力できるクラスでした。友人同士で勉強を教え合ったり、全ての学校行事を楽しんで終わることができました。メリハリをつけてお互いに高め合っているクラスメイトの姿に刺激を受けて、勉強に向き合うことができました。三高で出会った友人たち、そして先生方に感謝したいです。 大秦 佳奈

# ありがとう



今年の行事の中で、最も5組が活躍したのは、後期体育祭でした。前期は、女子のポッチャがいいところまでいきましたが、ほとんどの競技で敗退。球技は向いていなかったのでしょうか…。しかし、陸上では高跳びや幅跳び、長距離などで活躍し、なんと第2位！喜びではなく驚きの声が聞かれました。コロナ禍でも行事を行ってくれた三高、ありがとう！ 中山朱理、大崎彩佳

3年5組



元気のよさが持ち味である3年6組は、兄貴的な存在である小沼先生を先頭に多くの行事や受験勉強に邁進してきました。体育祭で総合優勝を成し遂げられたことは、忘れることのない最高の思い出です。たった3年間しかない高校生活の中で、このような素晴らしい仲間と巡り会えたことを私は誇りに思います。みんなありがとう。またいつか会おう。 富永 万作

3年6組



今年はコロナの影響でさまざまな行事が例年と異なる形で行われました。その中で3年7組は、時には冷静に、時には楽しく行事に取り組んできました。体育祭ではポッチャで女子が優勝しました。また三高祭では、クラスパフォーマンスに全力を注ぎ、優勝を勝ち取りました。私はこのクラスの一員であることを嬉しく思います。ありがとうございました。 高橋 瑠輝

3年7組



3年8組は努力家の人がとても多いクラスで、授業の合間や休日の教室ではいつも、勉強を頑張るクラスメイトの姿が見られます。また、根元先生、鈴木先生に優しく見守られながら、三高祭をはじめ高校最後となる様々な行事も全力で楽しむことができました。卒業してみんなと離れてしまうのは寂しいけれど、この1年を3年8組で過ごせて本当に良かったです。ありがとう3年8組、ありがとう三高！ 菅原羽奈、高平美宇

3年8組



# 後期体育大会

2020.10.14(水)

## 優勝 3-6 総合優勝 3-6



～種目～  
100m、400m、100mH、  
1500m、リレー、  
メディシン運びリレー  
走幅跳び、走高跳び、  
砲丸投げ、メディシンボール投げ、  
綱引き、10人跳び、部対抗リレー



# 卒業おめでとうございます 三年間の思い出

## 「人に支えられて」



第三学年委員長 正橋 裕美

五十六回生、並びに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。今年度は、コロナ感染症の影響でオンラインでの授業再開、高総体の中止等、異例なことばかりの一年でした。いつ終息するかからコロナ禍、通常どおり受験出来るのか、センター試験から大学共通テストへの変更はどうなるのか等の不安の中、三年生は受験勉強を黙々と続けてきました。本当にお疲れさまでした。

さて、一年を振り返って思うことは、会議等で学校に行くと、娘や友人たちの楽しそうな明るい姿を時折見かけることがありました。何だか自分までがうれしい気分になり、役員で良かったと思えました。娘は勉強と部活の両立や様々な悩み事を友人たちと共に乗り越え、友人と時間の共有をすることにより成長してきました。私もPTAの役員の皆さんに支えられて、楽しく過ごすことが出来ました。

改めて、何事も人に支えられて生活していると思えました。最後になりましたが、先生方をはじめ学校職員の皆様、また生徒たちを見守って下さった地域の皆様、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。そして五十六回生の皆さんコロナに負けないで夢を実現させて下さい。

## 「卒業にゆだねる」



第三学年主任 渡部 敦

五十六回生の皆様、また卒業まで温かくお子様の成長を支えて頂きました保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

この学年は入学以前から新大学入試ということで世間からの注目を集めておりました。変更があるとなかなか、彼らにとっては初めての大学入試であり、制度が変わったからといって関係はなかったのですが、ご存じの通り予定された英語技能検定、共通テストの記述などが直前になって見送りとなりました。またいよいよ三年生がはじまるという矢先に、長期休校によって当初予定された多くの学習や行事の計画が見直しされました。しかしこの未曾有の事態の中、ひたむきに、そして真摯に学校生活を送った五十六回生の様子がわれわれ大人たちは何度も勇気づけられました。制限された中でしたが、文化祭・体育祭をはじめとする行事はすべて実施できました。困難な中であっても彼らは創意工夫と熱意によってこの難局を乗り切ってきました。これからの社会変化はわれわれの想像を超えるかもしれませんが、三高で成長してきた彼らには、それを乗り越えるための力があると確信しています。この成長を支えて頂きました保護者の皆様に改めて感謝いたします。最後になりますが、五十六回生のこれからの活躍を、また保護者の皆様のご健勝をご祈念いたします。

## 令和2年度尚志公表表彰

- 功績賞 (8名)**
- 富永 万作 令和元年度茨城国体 ラグビー15人制少年の部出場 7位入賞
  - 上川名琉人 第44回全国高等学校総合文化祭自然科学部門研究奨励賞(全国TOP5)
  - 島山 瑞規 第44回全国高等学校総合文化祭自然科学部門研究奨励賞(全国TOP5)
  - 松本 駿佑 第44回全国高等学校総合文化祭自然科学部門研究奨励賞(全国TOP5)
  - 穴戸 勇太 第44回全国高等学校総合文化祭自然科学部門研究奨励賞(全国TOP5)
  - 関 佐和子 第44回全国高等学校総合文化祭自然科学部門研究奨励賞(全国TOP5)
  - 中村 優月 第44回全国高等学校総合文化祭自然科学部門研究奨励賞(全国TOP5)
  - 菅原すみれ 第44回全国高等学校総合文化祭自然科学部門研究奨励賞(全国TOP5)

- 功労賞 (延べ49名)**
- 福士 渥大 藤村 颯大 濱松 久子 小杉 冬馬 太田 有紀 渡辺 健太 鈴木 博也
  - 松澤 秀馬 菅野 理乃 阿部 優登 渡辺 海音 熊谷 阿花 白濁 瑞希
  - 金野 心春 菅田 優和 佐藤 英俊 狩野 英俊 辻本 武 菅原すみれ 松岡 唯衣
  - 皆川 隆介 菅野 克拓 佐藤 一啓太 和田夕佳李 尾形 綾菜 高橋 陽輝
  - 大崎 彩佳 高橋 優磨 金田 啓太 相澤 仲治 土田 新晟 尾形 綾菜 高橋 陽輝
  - 高橋 瑠輝 林 佳奈 高橋 千乃 関内 敦基 金田もえ子 曾根 歩美
  - 後藤 柚那 長瀬 楓 片岡 丈 加藤 美希 松原 千青 白井凜太郎

## 令和2年度皆勤賞受賞者 3年間皆勤 (37名)

- |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |       |       |      |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 8組    | 7組    | 6組    | 5組    | 4組    | 3組    | 2組    | 1組    |       |       |       |      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |      |       |       |       |       |      |       |       |       |       |       |       |
| 村瀬 真有 | 山崎 桃子 | 金田もえ子 | 尾形 綾菜 | 石川実央子 | 関内 堅人 | 菅野 稜太 | 向山すずか | 伊藤 千聡 | 富永 万作 | 小杉 冬馬 | 熊谷 陸 | 陶木 佳歩 | 熊谷 果穂 | 引地 勘太 | 尾山 大智 | 小林 伽乃 | 郷家 未明 | 太田 有紀 | 鈴木 桂一 | 大場 郁弥 | 梅津 文暉 | 白濁 泰生 | 八巻 夏実 | 菊池 杏奈 | 早川 駆 | 氏家龍之介 | 阿部 隼士 | 三浦 杏実 | 中川 実梨 | 谷 涼那 | 古川 愛都 | 中堤 千尋 | 関 佐和子 | 中村 航大 | 井場 正貢 | 阿部 直登 |

## 編集後記

今年度はコロナ禍のため、授業も行事も少なくなり、広報誌も例年とは違うものになりましたが、各々が頑張り、楽しんでる姿をお伝えできたなら幸いです。広報誌発行にご協力いただきました先生方、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。(委員長 中川 万野)

## 広報委員

- 三年 中川 万野 中村 文恵 福士恵美子 佐藤 純子
- 二年 庄司 明子 木村 栄子 岩佐 美江 佐藤 真希 本間 静子 矢吹英里子 小嶋 恵美
- 一年 細川みゆき 澤口 彩子 田中真美子 成田 尚子 稲妻佳代子 小野寺晴美 中島 陽子 高橋 直美 山崎江利子



いつもと違う  
夏だけど...

# 三高祭開催!!

8月28日



## 三高祭を終えて

三高祭実行委員長 3年2組 川村 虎鉄

未知ウィルスが猛威を振るい、日本全体が混乱に陥っている中、今年も何とか三高祭が実施できたことを嬉しく思います。感染拡大防止に取り組みながら、今までの伝統を受け継ぎ、かつ新しい企画に挑戦しようと努力しました。規模の縮小、食品の提供の禁止、マスクの着用など、厳しい規制の下で行われた三高祭でしたが、結果として実りのある三高祭となりました。しかし、私個人としてはまだまだ改善できる点があったとも思います。このコロナ禍がいつ収束するのかは誰にもわかりませんが、来年度以降の実行委員には、より主体的に動き、生徒のために何ができるかということをよく考えて、よりよい三高祭にしてほしいと思います。最後に三高祭の成功に協力してくれたすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



▲前夜祭の花火は近隣住民にも 好評でした

## 三高の思い出

仙台三高教諭 保志 光毅 (21回生)

三高の卒業生には、「三高 Love」の方が多いと感じます。きっと高校時代に人生の中でも特に濃密な時間を過ごせるからだだと思います。私の高校時の思い出は、部活動での合宿です。合宿は夏と年度末に校内で行っていました。夏は酷暑の中、しこたま走った後に食堂に食事を楽しみにしていくと揚げ物のオンパレード。合宿所には当然エアコンなどあるはずがなく、窓を全開にしながら寝るものの、網戸が破れたり無かったりしている箇所が多く、蚊と格闘しながら就寝。年度末の合宿では、合宿所に寝具はマットレスと毛布しかなく、取り合いをしながら、いかに就寝時に凍えることなく朝を迎えるかということが最大のテーマでした。今と比べると劣悪な環境と感ずるかもしれませんが、当時はそれが当たり前で当時の先生や先輩方の支え、仲間のおかげで大変充実した時間を過ごすことができました。また、三高の隣にあった「若松ミート」に仲間と寄り道し、惣菜を頼りながらくだらない話をするのがたのしかったなぁ〜。「若松ミート」のおじさん！試合で頑張った時には、「ウィンナー揚げ」をたくさんごちそうしてくれてありがとうございました！皆さんも三高で濃密で充実した生活を！！

